

増厚床版の剥離部補修並びに 床版コンクリートのひび割れ補修工法



アルファテック 342(AT342)

特許名称：増厚床版の剥離部補修並びに床版コンクリートのひび割れ補修工法
登録番号：5588241
共願特許：アルファ工業(株)/日本高速道路(株)3社/(株)高速道路総合技術研究所
国交省新技術情報提供システム (NETIS) 登録番号：KT-140110-A

アルファテック 342 は、コンクリート床版のクラックへの注入、増厚されたコンクリート床版の浮きや水平クラックへの注入、舗装と防水工の浮き部に注入するエポキシ樹脂接着剤です。

用途

- コンクリート床版のクラック補修
- コンクリート増厚床版の浮き、クラック補修
- コンクリート面と舗装面の接着

特徴

| | |
|-----------|---|
| 高い接着性・耐久性 | 乾燥面は勿論、湿潤・水中でも優れた接着性能を有します。水中での硬化でコンクリートの破壊強度を超える接着強度を示します。 |
| 低収縮性 | 揮発性溶剤を含みませんので、硬化収縮がほとんど無く、注入・接着した躯体に不具合を与えません。 |
| 高い充填性 | 低粘度で、コンクリートの微細なひび割れにも低圧で浸透・充填が可能です。 |
| 短い硬化時間 | 速硬化なため、短時間の施工に適しています。 |

施工方法

【舗装面からの施工】



【切削面からの施工】



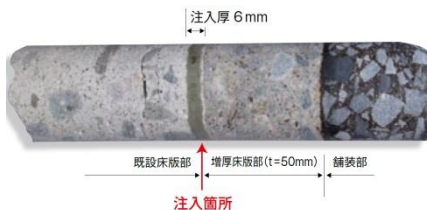
【橋梁下面からの施工】



舗装面・切削面・橋梁下面など、あらゆる状況下において、施工が可能です。

注入事例

高速道路床版の補修事例（コア写真）



使用方法

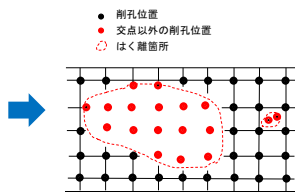
- 施工面の粉塵、油分等を除去してください。
- 主剤・硬化剤を 2:1 (重量比) で計量し、空気の巻き込みに注意したうえで十分に攪拌してください。
- 一度に混合する量は可使時間内に使い切れる量としてください。
- 施工は 5℃以上の環境で行ってください。

施工手順

※作業時間の制約により、省略することが可能です。



①浮き調査(舗装面)



②浮き調査及び削孔位置の確認



③削孔



④床版洗浄(左：泥土水流出、右：清水流出)



⑤注入プラグ取付



⑥注入ポンプ



⑦注入状況



⑧注入完了